

(独)日本学術振興会人文・社会科学振興研究プロジェクト
I-1-② 日本型地域ネットワークと地域通貨研究グループ
兵庫県健康コミュニティ研究会合同
山梨県無尽講フィールドワークショップ

企画の趣旨、成果と今後の課題

伝統的日本型地域ネットワークの現状、今日的あり方を検討し、地域課題の解決への貢献の可能性を探った。無尽は山梨県においては、健康コミュニティをささえる社会的ネットワークとして機能していることを改めて確認した。

山梨県庁健康長寿課よりの情報供与

伝統的社会的ネットワークが健康寿命を延ばしていることを継承することを山梨県が提唱して推進している、介護予防早期発見早期予防モデルなどの「健康長寿なまなしプラン」を担当者自身から説明してもらうことができた。大変密度の濃い情報供与を得たことを山梨県庁健康長寿課の方々と兵庫県庁内の健康コミュニティ研究会に感謝したい。

今後さらに伝統的ソーシャルネットワークの地域健康福祉行政政策への反映策を研究し、山梨県のフィールドワーク地との研究交流を行い、兵庫県庁内外の関連機関、市町、大学、病院などとの連携が目指されることが確認された。



山梨県庁舎玄関



健康長寿課の皆さん



パンフで無尽に言及

山梨大学医学部山縣然太郎教授訪問

またそのプランの実質的な推進者である山梨大学の山縣然太郎教授の研究室を訪ねて、チームの研究環境を観察した。多忙な中、社会と疾病の関係について大変興味深いショートレクチャーをしていただいたことはありがたかった。



山梨大学医学部研究棟



社会医学講座研究室で



実験室とスタッフ

春日居町賀茂ふれあいサロンフィールドワーク

2日目はプランの一環に組み入れられている「ふれあいサロン」の現場（春日居町賀茂）をフィールドワークし、参加メンバー19名と交流した。

メンバーは毎月15日前後の土曜日に賀茂春日神社（奥山昭宮司）に朝10時から集まり、福祉事務所の専門家の指導の下健康体操を行っている。グループ発生のいきさつを聞いたところ、県の呼びかけに応じて始まったものではあるが、応募で集まったのではなく、友達同士がつぎつぎに声かけてネットワークがうまれたとのことであった。

子酉川（ねとりがわ。現 笛吹川）が直角に曲がる地に立てられた賀茂春日神社は延喜式にある由緒正しい神社で、昭和のはじめごろまで、良質の湧水を擁する地域の中心であった。

たちかえり またも汲みみん 涼しさは 賀茂の宮井のみたらしの水 永鷹
（「賀茂春日神社の由来」より）

市内21箇所のサロンのなかで、神社において活動をしているのは、この地区のみだそうである。体操の後には茶菓が配られ、「この木の下は気持ちがよくて離れたくない」と言っていて楽しく歓談しあっていた姿と、その品のよい美しい笑顔が大変印象的であった。やはり人々が集うのに適しているのは、このような空間の履歴を有する場であろうと思われた。

奥山宮司は由緒書をはじめ、地元の伝承に関する資料をいろいろと下さった。高い見識の持ち主で、宮総代である老人クラブ長とともに、地域の人々の精神的支柱であることが伺われた。奥山安弘(74)恒己(68)ご夫妻からも無尽の感想や、鎮目の山梨岡神社の話などを聴くことができた



春日居 賀茂春日神社



三間社流造本殿前で



宮司 奥山昭氏

人社プロチームの今後の課題としては、観音講を実際に見聞したように、無尽の現場に参加すること。来年度の懸案としたい。そのほか、元気山梨今回取材した地域の気候や環境が西播磨や備前と類似していると思われるにもかかわらず、地域ネットワークのあり方や住民意識がかなり異なっているのはなぜか、ということを考えてゆく必要が今回新たに認識された。山梨も桃やブドウを作る農家が多いこと、法華信仰の伝統が強いことなど、備前は山梨と類似点が目立つ。しかし、西播磨や備前は、独立独歩の気風があり住民の連帯意識が希薄であり、山梨は定期的に人が集まり絆を強めあうのはなぜか。前回の北上町といい、今回の山梨県といい、そのホスピタリティは、地域に生きる人々に安心、落ち着きをあたえることが強く感じられる。よく、気候が厳しく、豊かでない地域の方が人々が助け合うといわれるが、7月にフィールドワークしたかな陸前、今回の甲斐の社会ネットワークを見ると、この「常識」が見直されるべきであることを感じた。

参加者

人社プロ参加者 岡田真美子、芦谷恒憲、久戸瀬昭彦、竹村英樹、松田竜一
兵庫県庁健康コミュニティ研究会：

清原桂子 兵庫県理事

崎山泰弘 兵庫県健康生活部生活企画局健康ひょうご課長

柳瀬厚子 同健康増進課主幹 兼 少子局児童課主幹

スケジュール

第一日目 平成 18(2006)年 8 月 18 日(金)

岡田 6:17 発 長船 JR 赤穂線(普通) 6:45 着

7:05 発 岡山 のぞみ 62 号 7:51 着 新大阪

他 4 名と合流 8:19 発 新大阪ひかり 404 号 10:05 着 静岡

10.12 発静岡 ふじかわ 5 号 12.23 着 甲府

到着後「小作甲府駅前店」昼食 清原理事と中西課長は夜合流

取材先

① 山梨県庁福祉保健部長寿社会課 14.00-16.30

所在地 〒400-0031 甲府市丸の内 1-6-1

電話 055(223)1450 FAX 055(223)1469 chouju@pref.yamanashi.lg.jp

対応者

中澤正史様 福祉保険部長

竹中正美様 同 長寿社会課長

戸澤廣美様 同 介護保険指導監

高木悦子様 同 課長補佐

貫井信幸様 同 作業療法士

レンタカー（松田、久戸瀬運転）でこれ以降移動

② 山梨大学大学院 医学工学総合研究部 社会医学講座 17.30-18.30

山縣然太朗（やまがた・ぜんたろう）教授

所在地 〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110 番地

電話 055-273-9564

zenymgt@yamanashi.ac.jp

<http://www.yamanashi.ac.jp/education/medical/social/heal0sci/syoukai/yamagata.html>

第二日目 平成 18(2006)年 8 月 19 日(土)

健康コミュニティフィールドワーク 10.00-11.00

〒406-0005 笛吹市春日居町加茂 320 奥山昭宮司

TEL/FAX 0553-26-2226

参加者 19 名

9.50 待ち合わせ 笛吹市社会福祉協議会春日居支所
笛吹市春日居町寺本 142-1 (春日居福祉会館内)
TEL:0553-26-3667

午後

秋山村 原田さん宅訪問

(別紙)

富士吉田市歴史民族博物館訪問

山梨県富士吉田市上吉田 2 2 8 8 - 1

Tel: 0555-24-2411

Fax: 0555-24-4665

E-Mail: hakubutsu@city.fujiyoshida.yamanashi.jp

Home Page: <http://www.city.fujiyoshida.yamanashi.jp/info/div/hakubutsu/html/>

宿泊先 :

ホテル石風 〒 406-0023 山梨県笛吹市石和町八田 195

TEL 055-262-2151 ・ FAX 055-263-3383 welcome@hotel-sekifu.co.jp

岡田帰り

12:36 発 石和温泉 かいじ 110 号 13:34 着 八王子

13:39 発 八王子 JR 横浜線(快速) 14:18 着 新横浜

14:32 発 新横浜 のぞみ 35 号 17:37 着 岡山 【5 号車 13 番 D 席 予約番号 2008】

17:48 発 岡山 18:14 着 長船

他は午後の無尽フィールドワーク終了後、帰神

